

ちりふ文化

第171号

2023年1月1日

発行所 知立市文化協会

知立市文化会館内
(パティオ池鯉鮒)

TEL 0566-83-0151

FAX 0566-83-0242

http://chiryu-bunka.org/

メール: chirybunkyou@katch.ne.jp

謹賀新年

第46回知立文化賞・文化奨励賞・ 第7回文化芸術新人賞 表彰式

11月13日(日) 文化会館

かきつばたホールにて開催



みずのとう
干支・四緑木星 癸卯



文化賞は、詩吟・岳精会日本吟院三河岳精会会長の深浦精正さん。詩吟の楽しさを多くの市民に伝え、詩吟愛好家を育てられ、文化振興に「尽力」されています。
文化奨励賞は、箏曲家で三河正絃社社主の岩瀬直子さん。市内の各小学校にてお琴の体験授業を行い、子どもたちに箏曲への興味関心を深めるよう活動されています。
文化芸術新人賞は、ヤング・パティオウエーブさん。市内在住・在学の中高校生25名の皆さんです。知立市文化会館で開催される自主公演で、フロント担当ボランティアとして、また、フレッシュな笑顔で気持ちの良い接客サービスに貢献されています。おめでとうございます。

喜びのいっしょ

知立文化賞



この度は、知立文化賞の栄にご推挙頂き、大変光栄に思います。

今日まで古今

深浦 精正

の素晴らしい漢詩、和歌(短歌)、俳句、また、新漢詩などの詩を吟じてきて、世の中の健康と心の豊かさづくりに微力ながらお役に立てたのかなと思います。これは私一人の力で出来たことではありません。今日ま

知立文化奨励賞



岩瀬 直子

で吟道に意気を感じ、共に精進してきた仲間があったからであります。これら多くの吟友の仲間の代表として拝受したものです。そのことに感謝し、共に歩んできた仲間と喜び、これからも更に吟道を追究し、この度の栄に報いたいと思います。

この度は、文化奨励賞をいただき、心より御礼申し上げます。平成17年度より始め

た小・中学校での箏の体験授業。その活動が認められ、この賞に選出された事は大変嬉しく思いま。伝統文化は機会がないとなかなか触れる事ありません。これからは一人でも多くの児童たちに箏を体験出来るように活動を続けて参ります。この場をお借りして活動に協力して下さいる方々へ感謝申し上げます。

知立文化芸術新人賞

ヤング・パティオウエーブ

この度は、知立文化芸術新人賞をいただきありがとうございます。大変光栄に思いますと共に、文化会館をご利用いただく地域住民の皆様、並びに文化協会、会館関係者の皆様のお支えあつての事と感謝申し上げます。私たちは、平成16年の設立以降、ホールボランティア「パティオ・ウエーブ」の皆さんと会館の自主事業が開催される際にフロント係として、お客様をお迎えする社会体験と公演鑑賞をさせていただく部活動のような活動として、現在25名の中高校生が参加しています。

この受賞を励みに、今後もお来場の皆様のおもてなしに努めて参ります。



愛知県文化協会連合会

西三河部芸能大会を 終えて

10月23日(日)午前9時30分から午後4時、知立市文化会館のかきつばたホールで、西三河の9市1町の文化協会の芸能大会が開催され、会員の渾身の大会運営により、幕を閉じました。ステージやエントランスロビーで19団体約500名が、日頃の活動の成果を披露しました。コロナで二年遅れましたが、盛大に開催することができ、会員の絆が深まりました。

特に、「知立らしさ」を前面に出せたいと思います。文化協会の協力は体制は素晴らしい。「文化協会のパワー」を感じました。最後の「ちりゆつちりゆつ」の踊りにそのすべてが表出されていたと思います。

大会を終え、住田三枝子大会実行委員長の「閉会のことば」の後の沸き起こる拍手の波。そして、会員の潤んだ眼を見た時、本大会の成功を確信しました。会員の皆さんのおかげと感謝しています。本当に有難うございました。

- 成し遂げた 文協魂 脈々と
- 念入りに 確認しても ハブニング
- 老女パワー パティオスタッフ 感嘆符
- ステージで 私を見てと 口走る

芸能大会スタッフとして

創作部門

(立春知立短歌会)

荒木 朋子

舞台に縁のない私には、不安な楽屋係でしたが、素晴らしい特典がありました。それは、出番前のスタンバイ中の方々を目の前で見られたこと。数々の美しい衣装、緊張が伝わる息遣いなど、貴重な嬉しい体験でした。

芸能部門

(ボイストレーニング ひばり)

森島 薫

「西三河は芸どころ」西三河芸能大会をお手伝いさせて頂いて思ったことは、この一言に尽きます。和のもの、洋のもの。歌あり、踊りあり、年の幅広く、皆さんが楽しく芸事に励んでいるのが、伝わってきました。今回、裏方として、お手伝いできたことをとても嬉しく思います。次回(8年後?)もお手伝いしたいなあ。

文楽



集合写真

世界最短の
定型詩の「俳句」

心が動いた瞬間を17音にこめてみました。景色や音、香りが際立ち、曇った感情は作品に昇華され、その清々しさにもう一句と心が弾みまします。暮らして俳句を取り入れ、人生を楽しむ術を知る、よい機会だと思つて作つて頂きました。

俳句を作る時は、まずは「面白ものを見つけた!」という好奇心が大切です。俳句を読み解く時に鍛えられるのが想像力です。俳句はあまりにも短い言葉ですから、読み解く側は「なぜこの言葉を使っているのだろう」と想像力を働かせます。言葉に寄り添つて、俳句にとつて一番良い解釈で味わおうとする能力が、鍛えられる点も俳句の素晴らしいところでしょう。

令和5年の新年を迎え、会員の皆さんが年初めて作つた俳句を紹介します。

- 旧友の 安否確認 年賀状 吉田ひとみ
- 還暦を 迎えし母に お年玉 吉田ひとみ
- 年賀状 米寿の母の 墨薄し 柴田 千明
- 初詣 母の笑顔に願込める 寺田 節子
- 初詣 寒さ堪(こら)えて 杉浦 五一
- 冬の空 見上げる夜空 杉浦 春吾

○お正月 心新たに 舞う扇 住田三枝子

○流れゆく としつき重ねし お正月 住田三枝子

○コロナ禍で 四たび迎える お正月 住田三枝子

○福寿草 日なたにいでよ 今年こそ 大井 芳江

○夢かなえ 愛に満ちたる 福寿草 大井 芳江



パティオ 上空の虹

第44回
知立市民文化のつどい

6月11日(土) 12日(日) 創作部門展では、「ちりゅっぴのお面を作ろう」、茶華道部門による華道展



では、「親子生け花体験教室」、18日(土) 19日(日) 美術部門展、「うちわを作つて印も作ろう!」を行います。

生け花



今年のよこし祭りには
「やぐら盆踊り」

8月20日(土) 午後5時「オーブニング」、「シェイクアウト訓練」後、例年とは違い、コロナ感染拡大防止のために路上を練り歩くことやコンテスタはありませんでした。しかし、1mの高さで9m×9mのやぐらを作り、その上で申込みのあったチームがプログラムに合わせ、順番にやぐらに上がり、踊りました。文化協会は経済課と一緒に盆踊りの運営に協力し、踊りもお手伝いスタッフとしても盛り上げました。



和太鼓ユニット 光さんのミニライブ。よいとこばやし生演奏でやぐらの周りを自由参加で踊りました。

第23回

しみん芸術祭

今年度は、コロナ感染拡大防止対策をしっかりと計画した事業をすべて行うことができました。



詩吟・剣詩舞・大正琴のつどい 6月26日(日)



市民音楽祭 7月10日(日)



C・R・F(ちりゅうロックフェスティバル) 9月4日(日)



洋楽(音楽・舞踊)のつどい 9月18日(日)



邦楽・日本舞踊のつどい 9月24日(土)



演劇フェスティバル
インちりゅう
12月11日(日)



美術部門展(選抜展)
11月11日(金)~13日(日)



民踊のつどい
11月6日(日)



創作部門展
11月5日(土)6日(日)



民謡・歌謡のつどい
10月29日(土)



徳山まあやさん
「大あんまきの世界」

◆ 小中学生美術展



斉藤之康さん
「点描皿」

◆ 知立市美術展
約1,000名の来場者の方々に、作品を鑑賞して頂きました。

知立市美術展 小中学生美術展



第37回知立市美術展・第17回知立市小中学生美術展が、10月6日(木)~9日(日)パティオ池鯉鮒で開催され、工芸の斉藤之康(ゆきやす)さん(豊田市)と徳山まあやさん(知立南中学校)が、特別賞(愛知県知事賞)を受賞されました。知立市美術展は、208点(無鑑査、審査員他40点)、小中学生美術展は、市内10校から105点の応募があり、無鑑査作品と共に展示され、約1,000名の来場者の方々に、作品を鑑賞して頂きました。

文化講演会



講演のお話の中では、「友だちはいいもの」と小学校3年生の時の友人と今も交流が続いていることやホワイトボードにはった模造紙に、来年は「うさぎ年」だということを意識されて、たくさん漫画を描いていただきました。また、扇子やイラストの描かれたはがき等が来場者にプレゼントされました。

「知立は知立(ともだち)」
〜「コマ漫画家が語る、私の地元・知立」
講師：ウノ・カマキリ氏
(「コマ漫画家」)
11月13日(日)午後2時から、文化講演会が開催されました。講演会の始まる前に、「知立は知立(ともだち)」のバックコーラスでカマキリ氏が歌ってみえることを知っていたらどうと、パティオちりゅう少年少女合唱団の皆さんが歌いながら、「グー・チョコキ・パー体操」を披露しました。

11月13日(日)午後2時から、文化講演会が開催されました。講演会の始まる前に、「知立は知立(ともだち)」のバックコーラスでカマキリ氏が歌ってみえることを知っていたらどうと、パティオちりゅう少年少女合唱団の皆さんが歌いながら、「グー・チョコキ・パー体操」を披露しました。

11月13日(日)午前9時30分から、西尾市文化会館ピロティ(小ホール入り口前)で開会式が行われ、その後、6会場で14の西三河地区の各文化協会の席主が県民

愛知県民茶会 の開催



やなせたかし氏作詞の「知立は知立(ともだち)」の歌と共に、近藤会長考案の「グー・チョコキ・パー体操」を文化講演会で初披露しました。今年の9月初めに指導を開始し、試行錯誤しながら完成。発表の成果は如何だったのでしょうか？

ウノ・カマキリ氏の講演会で初披露した「パティオちりゅう少年少女合唱団」の熱演体操
寺田 節子



市民茶会



県民茶会(西尾市)

また、同日、パティオ池鯉鮒では市民茶会が開催され、森宗玲先生、赤尾宗栄先生、永田宗和先生が席主を務められ、盛大に開催されました。(近藤博子)

茶会を担当しました。知立市は宗偏流の原田宗佳さんが席主を務められました。今年、茶聖・千利休の生誕500年を迎えました。生活に密着した茶の湯文化は、人々の美意識を反映し、客人をもてなす文化として、発展してきました。茶会席には、この時期に、みごとな「かきつばた」の花が花瓶に生けられ、掛け物を飾るといった具合に、趣向が凝らされました。県の花であり、市の花の「かきつばた」が秋に咲いているのを見て、心が豊かになりました。国歌「君が代」の歌詞が書かれた茶碗で、お抹茶をいただきました。また、茶道具を拝見しましたが、席主の精神の表れを感じました。

会員だより

第23回知立書道連盟新春展

とき 令和5年
1月19日(木)〜22日(日)
ところ パテイオ池鯉鮒
ギャラリー

知立市吹奏楽団

第25回定期演奏会
とき 令和5年
2月19日(日)
ところ パテイオ池鯉鮒
かきつばたホール

第31回知立市いけ花諸流展

華道部
とき 令和5年
3月4日(土)・5日(日)
10時〜16時
ところ パテイオ池鯉鮒
花しょうぶホール



劇団希求公演2023
「花よりタンゴ」

とき 令和5年
9月9日(土)
9月10日(日)
ところ パテイオ池鯉鮒
花しょうぶホール

月釜茶会

会場 文化広場 八橋庵
時間 10時〜15時
当日券 500円
令和5年 月釜茶会席主
1月15日(日) 近藤良仙窟(中止)
2月19日(日) 森 宗玲
3月12日(日) 原田 宗佳
4月9日(日) 赤尾 宗栄
7月9日(日) 永田 宗和
9月10日(日) 野村 宗和
10月8日(日) 近藤 宗美
12月10日(日) 中野 宗真

入会部会

茶華道部門
茶華道部門 茶華道部 5人
高木美千代
この度、知立市文化協会に入会しました高木と申します。皆様方と一緒に、伝統文化にはげんでいきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

美術部門

・写真部 11人
寺子屋知立 野村 賢孝
この度、知立市文化協会に入会しました「寺子屋知立」です。皆さんと一緒に頑張りますので、よろしくお願ひします。

令和6年度全日本愛瓢会の事業が
パテイオ池鯉鮒で開催予定

令和6年の全国大会は愛知県支部主管によって知立市で開催

されることになっていきます。コロナ禍に負けず、できる限り対面の集会を重ね、共通意識を高めて心豊かな生活をと、意気込んでいます。



人生100年時代の生きる指針

天野マズミさん(97歳)の短歌2首が受賞されました。「マズミ語録」での健康長寿の秘訣だけでなく、「元氣と勇氣」が伝播されました。心と身体の衰えや介護、お金、仕事、生きがい……尽きない老後の不安から解放されます。元気な心と身体を保つコツを伝えます。
熊野本宮大社(和歌山県)の献詠歌会に入選されました。お題は「水」。

朝朝に 雀一家か 蹲踞(つくばひ)の 水飲みに来る かへてやらねば

庭に来るスズメを待ちわびる

気持ちよさを詠んだ作品です。また、住吉大社(大阪市)観月祭の奉獻した作品は佳作に選ばれました。

一世紀 生かされたさと あと
四年 歩道橋上 朝月拜む

昨年12月で97歳になる気持ちを詠み、毎朝の散歩で見る風景を歌にされたそうです。

天野さんは昨年3月で「立春知立短歌会」を退会されましたが、長年、会をけん引して頂きました。今は、短歌を詠む機会が少なくなったそうですが、「宮中の歌会始」で賞に入るのが目標だそうです。



創作部門展 天野さんコーナー

お知らせ

◇文化協会新年懇話会
本年度は中止
◇文化協会研修旅行
本年度は中止

◇文化協会総会

とき 4月22日(日)14時〜
ところ パテイオ池鯉鮒
花しょうぶホール
部会の垣根を越えて円滑な事業展開を進めていきますので、理事・運営委員の方は出席をお願いします。

※総会終了後、運営会議・実行委員会、理事会を開催します。

※各部会で、運営委員が交代される場合は、2月末日までに、事務局に連絡をお願いします。

お願い

「ちりふ文化」の原稿提出にご協力をお願いします。会報「ちりふ文化」は、年2回、6月と1月に発行します。

団体紹介、発表会等の活動記事を掲載される団体は、4月7日(金)、または11月10日(金)までに、事務局に提出してください。

あとがき

表紙の「夫婦うさぎ」の作品は、創作部門の「折り紙を楽しむ会」の酒井康夫氏の折り紙作品です。会員の皆さんの声を聞いて、「ピヨーン」と飛躍する「つどい花咲く 文化協会」にします。